

# TRANS-CRIOLLA 南米公演 一夜限りの日本再演

## 11月10日 Hakuju Hall ウルグアイ、チリからの初来日ゲストも

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、建国200周年を迎える南米3カ国(アルゼンチン、ウルグアイ、チリ)、6都市で、**松田美緒**、**ヤヒロトモヒロ**、**ウーゴ・ファトルーソ**による公演を、2010年8月に行ないました。苦しい歴史の中で人びとの心の糧となってきた音楽を、各国を代表する音楽家とともに奏でました。

その南米公演が、11月10日の1日限り、日本で再演されます。帰国公演には、いずれも初来日、ウルグアイのアフリカ系音楽カンドンベのグループ、**レイ・タンボール**と、現代のチリを代表する歌手、**フランチェスカ・アンカローラ**を迎えます。

### TRANS-CRIOLLA ～ 響き合う地平の向こうへ ～

日時 | 2010年11月10日(水) 18:00 開場、18:30 開演

会場 | Hakuju Hall (代々木公園駅(千代田線) / 代々木八幡駅(小田急線)から徒歩5分)

料金 | 前売り3,000円 当日3,500円 全席自由

主催 | 国際交流基金 協賛: Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

#### 楽曲紹介(一部/解説:松田美緒)

##### Las Golondrinas つばめ

アルゼンチンのフォルクローレを代表する歌手、作曲家のエドゥアルド・ファルーの名曲。「つばめ」は移民の比喩として、貧しさや政治的な理由で、国を出ていく移民たちを見送り、いつか戻ってこい、と力強く語りかけるメッセージが込められています。

##### Templando Momentos 時を暖めて

ウルグアイの若きシンガーソングライター、ニコラス・イバルブルの作品。ウルグアイのカンドンベは、黒人の間で、国に禁じられながらもずっと密かに続けられていた太鼓音楽です。3種類のタンボールの温もりある響きが胸の鼓動と重なります。帰国公演では、カンドンベを代表するレイ・タンボールが参加してくれます。

##### El Cigarrito 巻きタバコ

チリのヌエヴァ・カンシオンを育て、民主主義のために最期まで歌ったヴィクトル・ハラの名曲です。労働者の毎日に愛情と親しみが込められた歌で、寒い日、仕事の合間に1本の煙草に火を灯すときの暖かさが伝わってくるような曲だと思えます。現代のチリを代表する素晴らしい歌手フランチェスカ・アンカローラとともにデュエットします。



©Pablo Carvacho

#### チケットお問い合わせ |

Votre(ヴォートル)チケットセンター  
TEL 03-5355-1280

#### プレスお問い合わせ |

国際交流基金 文化事業部  
舞台芸術チーム(担当) 前田 佳子  
TEL 03-5369-6063  
FAX 03-5369-6038  
E-mail Yoshiko\_Maeda@jpf.go.jp

## ■ 出演者プロフィール

### 松田 美緒 (vo)

<http://www.miomatsuda.com/>

秋田生まれ。ポルトガルの民族歌謡、ファドに自己表現の形を見出し、2003年、リスボンに留学。ファドをはじめポルトガル語圏の様々な音楽文化を習得し、カーボ・ヴェルデに歌手として滞在。大西洋の音楽世界をテーマに、ブラジルのシヨールの音楽家と作った「アトランティカ」(2005)でビクターより CD デビュー。以後、「ピタンガ！」(2006)、「アザス」(2007)をブラジルで録音。アルゼンチン、ベネズエラなど現在はスペイン語圏にも本格的にその世界を広げ、現地のミュージシャンとセッションを重ねる。2010年にはウルグアイの巨匠ウーゴ・ファトルーソ(Pf)、ヤヒロトモヒロ(Per)と共に作り上げた「クレオールの花」を発表。確かな歌の力で世界をつなぐ、その歌声には、彼女の旅する様々な地域の魂が宿っている。

### ヤヒロトモヒロ (per)

<http://www.tomohiro-yahiro.com/>

少年時代の10年間をカナリア諸島、グラン・カナリアのラスパルマスで育ち、そこでドラムパーカッションを始める。帰国後1980年プロデビュー。以来、山下洋輔、向井滋春、渡辺香津美、板橋文夫、梅津和時ら、ジャズ界を代表するミュージシャンと共演、アフロファンクバンド「じゃがたら」や「エスケン&ホットボンボンズ」のレギュラーサポートを務める。また、久石譲、武満徹、小野リサ、吉田美奈子、大貫妙子、さだまさし、加藤登紀子、cobaなどのコンサートに参加、ジャンルの枠を超えた幅広いフィールドで活躍。現在のレギュラー活動は、GAIA CUATRO、DOS ORIENTALES(Duo:ウーゴ・ファトルーソ)、グラストン・ガリツツァ Duo、タイロン橋本 Duo、中村善郎 Duo、等、多々あり。

### ウーゴ・ファトルーソ(Hugo Fattoruso) (pf, tambor) <http://www.myspace.com/hugofattoruso>

1943年、ウルグアイ、モンテビデオ生まれのアコーディオン&ピアノ奏者、歌手。アルゼンチンではビートルズ・スタイルのロス・シェイカーズで成功、アメリカでは伝説のフュージョン・バンド「OPA」で活動、ブラジルではミルトン・ナシメントやジョイスと共演するなど、本国ウルグアイのみならず幅広い活動で国際的に知られている。ウルグアイのアフリカ系音楽カンドンベにも造詣が深く、自己のバンド「レイ・タンボール」ではシンプルな編成でカンドンベの真髄を伝える。ここ数年、ヤヒロトモヒロとのデュオ「ドス・オリエンタレス」、松田美緒との「クレオールの花」ツアー等で毎年日本を訪れている。

### レイ・タンボール(Rey Tambor) (tambor)

<http://www.reytambor.com/>

約200年に渡りウルグアイ文化の重要な位置をしめてきたカンドンベ(Candombe)、3種のタンボール(Tambor 太鼓)によるリズムを生き生きとつむぎ多彩な音の拡がり表現する、ウルグアイを代表するカンドンベのグループ。ディエゴ・パレデス(Diego Paredes)のタンボール・ピアノ(tambor piano)、フェルナンド・ヌニエス(Fernando Núñez)のタンボール・チコ(tambor chico)、ノエ・ヌニエス(Noé Núñez)のタンボール・レピーケ(tambor repique)に、巨匠ウーゴ・ファトルーソによるピアノ、アコーディオン、歌の印象的な旋律が加わる。代々伝えられてきたカンドンベの伝統曲から、異ジャンルの有名曲、ファトルーソのオリジナル曲まで、そのレパートリーは幅広い。モンテビデオの格式ある劇場での公演や、アルゼンチンのパーカッションフェスティバル参加など、精力的な活動を展開。これまでに3枚のアルバムをリリースしている。

### フランチェスカ・アンカロラ(Francesca Ancarola)(vo, g) <http://www.francescaancarola.cl/>

チリ、サンティアゴ生まれの歌手、作曲家。ヴィクトール・ハラ、ビオレッタ・パラ、ミルトン・ナシメント、チャブーカ・グランダ、シルヴィオ・ロドリゲス、シコ・ブアルキといったアーティストから音楽的影響を受けた彼女の楽曲には、ラテンアメリカのフォルクローレの豊かさと、JAZZのいさどりとが織り交ざっている。

チリ音楽芸術基金主催によるチリおよび周辺国のツアーや、ブラジル、ポルトガル、フランスのジャズフェスティバル等に参加、ペドロ・アスナル、アルマンド・マンサネーロ、アンサンブル・カンテサンスなど著名アーティストの公演にも参加している。ニューヨークのメディアでも大きく取り上げられるなど、世界的に注目される、最も突出したチリ人歌手の一人。